



ダイミョウチク [大名竹] (トウチク)

常緑 / 特殊樹 / ※原産地不明



科名 イネ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い
木本扱い (保証の観点より)

ダイミョウチク名で親しまれる小型のタケ。庭園、坪庭、路地などに5株ほどまとめて配植するとリズムカルに納められる。節間が長く、節ごとに多くの枝葉をつけるため、段作り風の仕立てにされることが多い。園芸品種のスズコナリヒラは、葉に涼しげな白い縦縞が入る。



葉



全景



幹



スズコナリヒラ

Memo

標準和名はトウチク。斑入りの品種にスズコナリヒラがあるため、ナリヒラダケと混同しやすい。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花期	(開花は稀)												
	果実													
	紅葉													
	施肥	(不要)												
	剪定				■								■	

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント

筍（たけのこ）が出る時期と夏場に充分水を与え、乾燥しないようにするとよい。また、滞水すると根腐れを起こしやすい。節から出る枝を2～3節残して剪定すると、枝分かれし葉を密生させる。

剪定

タケ、ササは、地下茎を伸ばし増えるため、仕切りを設け生育範囲を決めるとよい。筍（たけのこ）が出たら、古いタケを切除して新旧交代する。剪定に耐えるので、希望の高さで頭を止めるとよい。

病虫害

風通しが悪いとカイガラムシやサビ病が発生することがある。